３７店舗の商店街に３店のチャレンジショップ

大　田　原　商　工　会　議　所

機関名	大田原商工会議所			
所在地	栃木県大田原市１－３－３６			
電話番号	０２８７－２２－２２７３			
地域概要	(1)管内人口	５万６千人	(2)管内商店街数	６商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	１　商店街	(2)メンバー数	３７商店
	(3)空店舗率	２４．３％	(4)大型店空き店舗	１　店
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

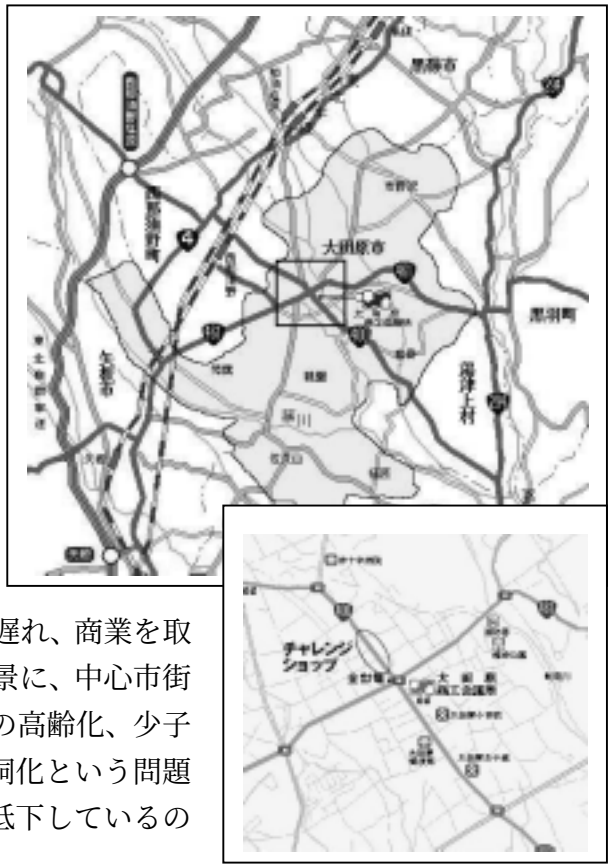
平成 13 年度　　空き店舗対策　　チャレンジショップ、イベント
　　総事業費　　11,367 千円

【事業実施内容】

１．背景

大田原市は、栃木県北部、那須野が原扇状地の恵まれた自然環境にある。東北自動車道西那須野インターチェンジ、東北新幹線那須塩原駅が最寄りにあり、栃木県北部の中心都市でもある。

大田原市の中心市街地は、古くから商業、各種業種などの様々な機能が集まり、人々の生活や娯楽の交流の場となり、また、長い歴史の中で独自の文化や伝統を育むなど、大田原市の活力や個性を代表する「顔」とも言うべき場所だった。



大田原市全域の地図と
チャレンジショップの位置

しかしながら近年は車社会進展の対応への遅れ、商業を取り巻く環境の変化、社会構造の変化などを背景に、中心市街の人口減少、空き家・空店舗の発生、住む人の高齢化、少子化などの現象が進み、中心市街地の衰退・空洞化という問題が深刻化し、中心市街地の果たすべき機能が低下しているのが現状である。

以上のような現在の衰退状況を鑑み、かつてのような人・物・情報の盛んな交流によって、地域特有の文化を育み、活気に満ちた市民の憩いの場創りを再構築するために、空店舗対策事業を導入し中心市街地に位置する中央通り商店街と上町金燈籠商店街に散在する空店舗の内３店に「チャレンジショップの開設」を行い、また駐車場を利用して、集客のための

各種のイベント事業を展開し「活力」・「賑わい」・「利便性」を図ることにより、さらに商店街を街なかの情報発信の場としての再構築を図るための事業実施にあたった。

２．事業内容

（１）目　　的：長い歴史の中で、文化・伝統を育み、各種の都市機能を培ってきた中心市街地において、少子高齢化と空洞化が進み、本来中心市街地の果たすべき機能が低下してきている。その市街地の空き店舗において、チャレンジショップならびに各種イベント事業を実施し、活力、賑わい、利便性そして情報発信等の都市機能の再生を試み、中心市街地活性化へ向けての「種子」として育てることを目的とした。

（２）名　　称：『夢工房おおたわら館』

（３）実施時期：平成 13 年 6 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日

（４）出店期間：平成 13 年 9 月 15 日～平成 13 年 11 月 30 日

（５）実施主体：大田原商工会議所商店街等活性化事業実行委員会

（６）補助機関：関東経済産業局・大田原市

（７）協賛団体：各企業・団体・サークル

（８）広告宣伝：チラシ折り込み広告、スポット放送

（９）事業内容

１）チャレンジショップの開設

１号店：１階８２坪　２階１７坪　　出店者８事業所（上と下の写真）

生鮮品・農産物販売店・環境にやさしいもの・朝取り新鮮野菜・果物・農産物加工品・無機質イオン洗浄液・インターネット体験コーナーその他

２号店：１２坪　出店者１事業

所骨董店和骨董・古民具・古民芸品・古箪笥・アジアン雑貨

３号店：２９坪　出店者１事業所
　　喫茶店　シアトル風コーヒー

２）集客イベント等の実施
　懐かしの映画鑑賞、ベトナムフェア、健康食品フェア和楽器演奏会、クラブコンサート、ふるさとの民話、刃物とぎ目立て等

【　効　果　】

マスコミのＰＲや実験店舗での物品販売や各種アトラクションを通して、市内は勿論、市外や県外にも広く知らしめることができ、大田原の知名度が向上し、大田原を新たに認知してもらうきっかけが生まれた。

今回の出店者は、単なる商業活動を行うのではなく、互いに助け合い、刺激しあい、また経営指導を受けながら出店期間の中で次の事業の手がかりを掴むことを目的としたこともあり、出店者連絡協議会の組織を立ち上げ、朝礼・終礼の実施、集客イベント（ベトナムフェア・懐かしの映画・スタンプラリー・各種講座等）を開催し、出店者自らが目的達成の為に努力を惜しまなかった点も評価される。

また、大田原商店連盟の加盟店がチャレンジショップオープン記念としての協賛イベントや協賛セールを実施することで、出店者に、より一層のやる気を起こさせたことは、今後の商業活動においても価値が見出せる。

また、実験店舗３店の内、現在２店舗に対して借主がついたことは、空店舗の解消が一歩進んだと思われ、中心市街地活性化の一助になることは確かであると思われる。

【課題・反省点】

今後の課題としては、継続化（採算面）の検討であると思われる。実験店舗が実験だけで終わらず、継続されて行けば、「空店舗対策」や「中心市街地活性化」の支援策にもなる。土・日の客数売上ではまずまずの状況であるだけに、今後の継続への期待は大きい。

特に大きなネックになる点は採算面である。効率化、省力化、機械化等をさらに進め、単独で運営継続できることを目指したい。

また、中心市街地との関連づけとして、実験店舗の話題性に留まらず、次の新たな業種業態の創造や空き店舗の活用に結びつくような展開を目指したい。

さらにイベントとの連携や回遊性を高めるための拠点として、どのように役割を担っていくかが課題である。

車客に対する対応としては、中心市街地に立地する実験店舗は市外からの車での来店客に対応出来ないでいるのが現状である。このため、出店者用の駐車場は別の場所に確保し、来店客には実験店舗近くの商店の駐車場に大田原市のキャラクター与一くんマークで案内表示を試みたが来店客には充分に周知したとはいえなかったので、車で容易に来られるための駐車場の案内や店舗の紹介等をさらに検討していく必要があると思われる。

No	出店名	出店内容	総来場者数（人）	総売上高（円）
①	㈲環境改善システム	環境にやさしい洗浄液実演販売、無機質イオン洗浄液実演販売	２，１０３人	２６１，４００円
②	アンティークＳＡＹＡ	和骨董、古民具、古民芸品、タイシルク、アジアン雑貨販売	１，７３４人	６６８，４００円
③	㈱アイ電子工業	インターネット体験コーナー、陶器、雑貨、絵本、アイデア商品販売	３，０６５人	１，８００，５４５円
④	㈱玄人軍団	なつかしの映画・縁日コーナー、激安衣料販売、手工芸品・趣味・アクセサリー販売	３，２６５人	１，６９６，３３０円
⑤	カフェド・グラン・ボワ	シアトル風コーヒー販売、アジア家具、アンティーク小物、衣料販売	１，９３２人	１，０４１，７５２円
⑥	ＮＴＴ大田原営業所	インターネットルーム開設支援	－	－
⑦	大田原市くらしの会	廃棄油利用石鹸、生ごみ堆肥促進剤、手作り小物、産直ワカメなど	１，１６５人	１８１，４００円
⑧	倉骨野菜直売所	朝取り新鮮野菜、果物、農産物加工品など販売	６７１人	３２３，４６０円
⑨	ごんべい直売所	朝取り新鮮野菜、果物、農産物加工品など販売	６５１人	３０６，０００円
⑩	ふれあいの丘	朝取り新鮮野菜、果物、農産物加工品など販売	９５０人	６９２，８３１円
⑪	ＪＡ婦人部青空市	朝取り新鮮野菜、果物、農産物加工品など販売	１８５人	１００，４５０円

①～⑤は期間中フル出店、⑦～⑪は週２～４日営業

【　教　訓　】

人との繋がりを大切にすること。

【関連ＵＲＬ】

大田原商工会議所　http//www.ohtawaracci.or.jp